埼玉県議会議員　無所属 41歳

すがわら文仁（ふみひと）

【略歴】昭和５０年7月３０日生まれ（４１歳）　市立美谷本小学校・美笹中学校卒　県立伊奈学園総合高校卒　日本体育大学卒（教員免許）　明治大学大学院修了（公共政策学修士）　元社会体育会社代表　「地盤・看板・カバン」なしで政治に挑戦　平成17年～23年戸田市議　平成23年埼玉県議会議員に初当選　平成27年再選　会派「無所属県民会議」総務会長　福祉保健医療委員　公社事業対策特別委員　青年地方議員の会会長　埼玉県体操協会副会長　埼玉坂本龍馬会副会長　日本自治体危機管理学会会員　【趣味】読書・史跡巡り・B級グルメ探し　【特技】バク転・のび太並みの早寝　【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」　【家族】父・母・妻・娘・息子・愛犬　【夢】努力した者が報われる社会を実現すること　【自宅】戸田市美女木８－２１－６

発行　無所属県民会議戸田支部（菅原文仁）
〒335-0023　戸田市本町1-21-8-1F
TEL/FAX　048-432-3585
HP　sugawarafumihito.com
Email　mail@sugawarafumihito.com

ご挨拶

さわやかな秋風が心地よく感じます。皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さてこの夏は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック日本代表選手の大活躍で眠れない日が続いた方も多かったのではないでしょうか。私もその一人でしたが、選手の皆さんから本当にたくさんの感動と勇気をもらいました。

さあ、次は２０２０年の東京です。連日報道されている通り、東京都の都政改革本部調査チームは、ボート・カヌースプリント競技の会場となる海の森水上競技場の見直しを提案し、その代替地として、宮城県の長沼ボート場（最有力）、そして戸田市の彩湖等を検討可能な候補としました。

私は平成26年6月定例会の一般質問で、彩湖を会場として招致すべきと提案しましたが、彩湖は都の近接地として、コスト、アスリートファースト、レガシーの面で優位性が高く、市民にとっては後世に誇れる一大事業になるはずです。

▲ 平成26年6月一般質問

引き続き、彩湖でのオリンピック・パラリンピック開催が実現するよう、東京都関係者やボート関係者、知事や市長とも連携しながら、公式非公式を含めた議会内外での働きかけを推し進めて参ります。

菅原文仁

すがわら文仁最新ニュース

▼知事に五カ年計画の改善を要望

平成29年～33年の埼玉県政の運営指針である「埼玉県五カ年計画大綱」の発表を受け、8月30日に会派として知事に対して30項目からなる「意見と提言」を提出いたしました。

その結果、企業における多様な働き方の促進に「育児休業制度の活用」が追加されるなど、22項目にわたり五カ年計画案の本体に反映されました。

▼「青年地方議員の会」会長に就任

9月4日、超党派の保守系地方議員で構成される「青年地方議員の会」の会長に就任いたしました。

この会は上田清司知事誕生の原動力となり、首長5名、県議10名以上を輩出した「地方政治の梁山泊」ともいえる団体です。

先輩議員の築いた経験や人脈を次世代に継承しつつ、若手議員がお互いに切磋琢磨できる環境をつくり、今後のさらなる埼玉県の地方自治・地方政治の発展向けて全力を尽くす決意です。

一般質問の報告

▼老朽化する美笹交番・笹目橋交番の移転・建替えを！

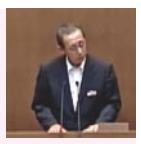
すがわら文仁

美笹交番、笹目橋交番は設置からそれぞれ39年、47年が経過して老朽化が進んでいる。この2つの交番は、美女木地区、笹目地区の地域住民が利用するには不便な場所にあり、交番に期待される「地域住民の安全と安心の拠り所としての機能」や「事件・事故に迅速に対応する機能」、そして「そこにあるだけで高まる犯罪抑止の機能」が十分でない。

そこで警察本部長に伺うが、老朽化が進むこの2つの交番については早急に建替えを検討し、その際は、地元住民や戸田市との調整を図って、効果が高い場所へ移転の検討を行っていただけないか。

美女木地区、笹目地区の安心・安全の拠点として交番の役割と機能を十分に発揮できるように検討していただきたいがご見解を伺う。

貴志浩平 警察本部長



議員ご指摘のとおり、美笹交番、笹目橋交番は、交番が設置された当時と比べ、交番周辺の交通環境や住宅環境等が大きく変化していると認識している。

交番の改築は、現在地での改築を基本としているが、管内の治安情勢や、人口推移、近隣の交番の位置関係等を総合的に勘案した結果、見直しが必要なところについては、改築に合わせて移転も行っている。美笹交番、笹目橋交番の改築は関係機関と連携して用地確保などの課題解決を図り、計画的に進めたい。

私たちの地域の治安維持に大変重要な役割を果たすのが交番です。特に美女木地区・笹目地区は、蕨警察署から一番遠い地域のため、身近な安心・安全の拠り所として、地域からも期待が寄せられています。

しかし一方で、美笹交番・笹目橋交番は「アクセスしにくい」という弱点があるように思います。この地域の交番がさらに利用しやすく身近になれば、市全体の犯罪抑止につながるのではないでしょうか。

なんとしても実現させたいと思います。

統計からみる埼玉県と戸田市

		総人口（人）	人口増減率（人口千対）	平均年齢（歳）	市町村民所得（万円）	生活保護率（%）	納税率（%）	市町村道舗装率（%）	下水道普及率（%）	犯罪率（人口千対）	人身事故発生率（人口千対）
埼玉県	H28.9	7,281,456	3.3	44.8	280.6	1.3	94.3	69.6	79.2	10.6	4.2
戸田市（県内順位）	H28.9	136,806	1位　36.0	1位　39.9	1位　360.6	7位　1.7	17位　95.3	1位　99.0	14位　88.0	2位　15.3	16位　4.6

※総人口以外は「統計からみた埼玉県市町村のすがた２０１６」より引用

一般質問の報告

▼部活動施設・備品の老朽化対策を！

県は「県立高等学校管理運営費」として高校に約45億7400万円（平成28年度）予算を配分し、部活動の施設や備品もこの予算から充てられます。しかし多くの学校では、教材との優先度から部活動の施設・用具を後回しにしており、後援会の支援金を当てにしている状況です。

ある県立学校の部活動の学校施設や用具が老朽化しているとの連絡を受けて視察したところ、昨年の点検で「交換や修理が必要」「危険な状態になる恐れがある」と判定されたものが約7割もあることが確認できました。こんな状態で充実した部活動・授業は到底できませんし、事故や怪我にもつながってしまいます。そこで、知事、教育長らに部活動に関する認識を質しました。

▲ 老朽化が著しく、危険な用具の数々（県立高校にて）

すがわら文仁

問題の体育施設の設備や用具を確認したところ大変驚いた。視察した高校はインターハイにも出場するような強豪校だが、多くの用具がガムテープでつぎはぎだらけ。破れて中がむき出しになっている物や、支柱が歪んでしまった物、部品が取れてしまって使い物にならない物などが数多くあった。

教育長は県立学校の部活動全体の施設や用具の破損・老朽化の実態を把握しているか。予算を理由に生徒の安全・安心がないがしろにされていないか。また、予算配分に問題はなかったか。県全体として部活動に係る設備や備品を総点検し、適切な更新計画を立てるべきでないか。

関根郁夫 教育長

部活動全体の施設や用具については、各学校が適切に維持・管理を行うこととしており、県は破損・老朽化の実態を把握していない。各学校で毎学期１回以上行っている安全点検を通じて今後も安全・安心の確保に努めていく。

予算配分については、各学校の裁量で計画的に行っているが、高額な物品については、毎年優先順位の高いものから予算措置している。突発的に生徒の安全、安心に関わる事態が生じた場合には最優先で予算措置していくよう努める。古くても安全性に問題がない物品の修繕・更新などについては、予算も多額であり対応できていない。

今年度、特に部活動で使用する高額な物品について、改めて各学校の状況を調査、把握したうえで順次予算措置できるよう努める。

すがわら文仁

教育における部活動の意義について、知事はどのようなお考えをお持ちか。ご所見を伺う。

上田清司 知事

部活動は子供たちの「生きる力」や「社会力」を養う上で、大変意義深いものと認識している。

勉強との両立により、時間の配分や能率的・合理的な行動などを学べ、集中力がつく。また、縦の関係を作ることもでき、志を同じくする連帯感の中で、礼節や友情を学び、一生の友達ができたりもする。

より多くの方々が参加し、充実できるような体制づくりを教育委員会共々考えていきたい。

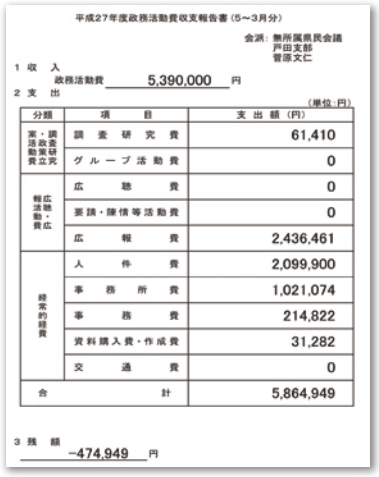
埼玉の県立高校は実にたくさんの人物を輩出してきました。ノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章さんもその一人。梶田さんは県立川越高校で3年間弓道部に在籍して活躍されましたが、ある対談で弓道部での経験を「重要な場面で集中する力が身についた」と語っています。まさに部活動で養った力が、その後の偉大な研究成果につながったといえます。

県立学校から世界に羽ばたき、地域を支える人材を育てるため、生徒が文武両道を目指せる環境をつくりたいと思います。

政務活動費の公開と報告

平成27年度中に交付された政務活動費の使途についてご報告いたします。

私の事務所では、書籍、飲食、ガソリン代、携帯電話料金、個人視察旅費など、全国的に問題となっているような支出には一切活動費を充てておりません。また、政務調査を行うスタッフの人件費、事務所費などについては自己負担基準を定めて支出しております。自己負担は、皆様からのカンパと自費から充当しております。



平成27年度政務活動費収支報告書（5～3月分）

会派：無所属県民会議
戸田支部
菅原文仁

1 収　入
政務活動費　5,390,000 円

2 支　出

（単位：円）

分類	項目	支出額（円）
案・調査研究活動費	調査研究費	61,410
	グループ活動費	0
報広活動費	広聴費	0
	要請・陳情等活動費	0
	広報費	2,436,461
経常的経費	人件費	2,099,900
	事務所費	1,021,074
	事務費	214,822
	資料購入費・作成費	31,282
	交通費	0
合計		5,864,949

3 残　額
−474,949 円

※無所属県民会議は、全議員が政務活動費の収支報告書をホームページに公表しております。何かご不明な点がございましたら事務所までお問合せ下さい。

編集後記

本年10月1日、県内24番目に誕生した戸田市は市政施行50周年を迎え、記念式典やお祭りが行われました。あらためて実行委員会の皆様のご活躍に感謝いたします。

また、市内各地では50周年を冠した記念イベントやスポーツ大会が行われるなど、機運を高める取り組みが各所で開催されて活気も出てまいりました。昭和４１年当時の戸田市の人口は55,110人、15,061世帯でした。当時と平成28年9月1日現在の人口136,806人、62,491世帯とを比べると文字通り、隔世の感を覚えます。

これからの50年を展望するにあたり、この節目に何が大事なのでしょうか。「竹、節（せつ）ありて強し」との言葉があるように、変わり目の時に自分と向き合い、振り返ることで人も強くなり伸びることができます。節とは、立ち止まる、締めくくる、節度を守るといった意味があります。

そういったことからも、私はこれまでの伝統や文化、歴史をひも解き、先哲に学び、讃え、それらを次世代に「つなぐ」ことが大切だと思います。その連続の中で愛郷心は育まれ、もっと住んでみたい街、ずっと住み続けたい街ができるのではないでしょうか。

～最後までお読みいただきありがとうございました～

本人の一行日記

7月（文月）

1日 (佐賀県)多久市の小中一貫校視察
2日 (市内)訪問市民相談
3日 (市内)下水焼却灰住民説明会
4日 (市内)事務所用務
6日 (さいたま市)議会対策打ち合わせ
7日 (市内)荒川水循環センター視察
8日 (さいたま市)青年地方議員会勉強会
10日 (市内)参議院議員選挙投票日
11日 (市内)事務所用務
12日 (県議会)市民相談応対
13日 (市内)訪問市民相談
15日 (市内)市内町会祭り前夜祭
16日 (市内)市内町会お祭り参加
17日 (市内)市内町会お祭り参加
18日 (市内)金野市議市政報告会
19日 (市内)倫理法人会参加
20日 (市内)事務所用務
21日 (市内)商工会青年部常任委員会
22日 (川口市)県南治水大会
23日 (市内)商工会青年部50周年記念式典
24日 (市内)西部地区ソフトボールBBQ
25日 (市内)訪問市民相談
26日 (市内)インターンシップ面接
27日 (市内)後援会暑気払い
28日 (県議会)会派団会議
29日 (市内)地域盆踊り大会
30日 (市内)地域盆踊り大会
31日 (市内)地域盆踊り大会

7月7日(戸田市)
地域住民の皆様と荒川水循環センターを視察

7月24日(戸田市)
うまい！流しそうめん!!

8月（葉月）

1日 (市内)事務所用務
2日 (西原町)琉球大学医学部視察
3日 (うるま市)県立沖縄中部病院視察
4日 (南風原町)県立精神保健センター視察
5日 (市内)地域盆踊り大会
6日 (市内)事務所市民相談
8日 (県議会)学生インターンシップ研修
9日 (県議会)地元要望打ち合わせ
10日 (市内)地域盆踊り大会
12日 (県議会)会派団会議
13日 (市内)訪問市民相談
15日 (千代田区)靖国神社参拝
17日 (横浜市)全日本Jr体操選手権大会
18日 (蕨市)障害者就労支援施設視察
19日 (市内)訪問市民相談
20日 (市内)ふるさと祭り開会式
21日 (市内)ふるさと祭り
22日 (市内)事務所市民相談
25日 (さいたま市)視覚障害者福祉協会
26日 (市内)体育協会理事会
27日 (市内)訪問市民相談
28日 (御殿場市)富士総合火力演習
30日 (さいたま市)記者懇親会
31日 (さいたま市)小児医療センター視察

8月2日(西原町)
研修医をトレーニングする人形「医療教育用シミュレーター」

8月18日(蕨市)
就労支援A型事業所にて実際の作業を体験